



えん だ よ り 5 月 号

Y M C A 保育園ねがい
2025年5月1日発行

「野の花がどのように育つのか、注意してみなさい。」

マタイによる福音書6章28節

あおば 青葉がしげり、きぎ 木々のオゾンがかお さつきば 園では、しぜん 自然の中でたいよう 太陽・かぜ 風・つち 土・みず 水・いし 石・むし 虫やくさばな 草花に触れ、ごかん 五感で感じながら「なんだろう?」「なぜだろう?」ときょうみ 興味がわくことをねが 願ってほいく 保育のけいかく 計画を立てています。たくさんのけいけん 経験を通して、「感じる」→ころ 心がかんが 動く「考える」→いよく 意欲が生まれる「やってみる」まな 学びがこころ 心とちえ 知恵とからだ 身体をかたちつく 形作っていくと考えています。

せんじつ 先日、NHKのばんぐみ 番組で「ヤバイ」「エグイ」のしゅるい 2種類しかごい 語彙がないわかもの 若者たちがと 取りあ げられていました。「楽しい」「嬉しい」「悲しい」「悔しい」・・・。

「泣きたいのはお母さんの方なのに」とな 泣くこ 子にいらいらしたこ 子育て中!「男の子は泣いちゃダメ」「女の子なのに怒ってばかり」といわれてそだ 育ったわたし 私です。

かんじょう 感情によしあし 無しはな 無いけれど、かん 感じる事はじぶん 自分でもと 止める事はできません。じぶん 自分のきもち 気持ちをいつもなっとく 納得したいのにかん 感じる事、おも 思うことはよそうどお 予想通りにはいきません。そして、ことば 言葉でひょうげん 表現すること、ことば 言葉でわかん 分かり合うことなん 何とむずかしいこと 事でしょうか。

わたし 私 はこころ 心のままにこうどう 行動している、0さい 0歳児の人たちがだいすき 大好きです。そして、ことば 言葉をかくとく 獲得するとともにあいて 相手のこと 事をかんが 考えるようになるので、こ 子どものことば 言葉はふか 深く、とき 時にはふくざつ 複雑なおも 思いが異なるひょうげん 表現の言葉になることにきづきました。おとな 大人にとっては「嘘」でも、こ 子どものきもち 気持ちはしょうじき 正直です。わたし 私 はかんたん 簡単にはりかい 理解できないことば 言葉やこうどう 行動も、「相手に喜んでもらいたい」こ 子どものきもち 気持ちをたいせつ 大切にしたいとねが 願っています。

せいしょ 聖書には、「おも 思い悩むな。」「そのひ 日のくろう 苦労は、そのひ 日だけでじゅうぶん 十分である。」とか 書かれています。それは、くろう 苦労はむだ 無駄ではなく、にんげん 人間ははな 花やとりいじょう 鳥以上にかみさま 神様にあい 愛されていることをしん 信じることで、なや 悩みからかいほう 解放されてゆる 赦されるということだと思ひます。もっとたの 楽しくおすご 過ごせるように、こ 子どももおとな 大人もわたし 私 もくろう 苦労もたくさんあるけれど、いっしょにおすご 過ごす事ができたら良いとねが 願っています。(えんちょう 園長 今井 世都)

